

(令和5年度当初) 地域少子化対策重点推進交付金 実施計画書 (都道府県分) 個票

自治体名 熊本県 (都道府県: 熊本県)

事業メニュー	地域結婚支援重点推進事業			
区分	一般メニュー			
関連事業メニュー	1.1.6 その他、各地域において結婚を希望する者の希望の実現を支援するための取組			
個別事業名	「くまもとスタイル」結婚推進事業	新規／継続 (一般財源での実施も含む)	継続	
実施期間	交付決定日	～	令和6年3月31日	事業開始年度 平成31 年度
自治体における少子化対策の全体像及びその中での本個別事業の位置付け ※(注)2	<p>(地域における実情と課題及び本個別事業の位置付け)</p> <p><地域における実情と課題> 熊本県においては、「第2期熊本県まち・ひと・しごと創生総合戦略」の施策「子供を安心して産み、育てられる環境整備」において、出会いから結婚・妊娠・出産・子育てまで切れ目のない支援の充実を図る施策を行っている。 具体的には、それぞれのライフステージに応じた切れ目ない支援に取り組む市町村を後押しするため、県単独の交付金事業を実施するとともに、県においては、平成29年(2017年)8月、知事が先頭に立って、職員や社員の仕事と生活の充実を応援する「よかボス宣言」を行い、県全体に「よかボス」を増やして、結婚や子育てがしやすい熊本県を目指すため、様々な機会を捉えて多くの企業等に働きかけを行った。 平成30年度、本交付金を活用して、「よかボス企業」・県・市町村からなる協議体「よかボス倶楽部」を立ち上げ、令和元年度には、「よかボス倶楽部」企業間交流支援センターを設置し、企業間交流の促進やよかボスの普及活動を実施している。 その結果、「よかボス」の企業・団体の数は943社(R4.12月時点)、「よかボス企業」のある市町村数は42市町村/45市町村にまで広がりを見せている状況。 しかし、令和3年の県内婚姻数が6,577件、出生数12,670人と、経年的に低下傾向にあり、少子化対策の観点から、結婚支援の充実を含め、これまでの取組みを更に加速させる必要がある。(参考:平成27年婚姻数8,249件、出生数15,577)</p> <p><本個別事業の位置付け> 熊本県では、行政、企業等の連携した取組みによって、若い世代が結婚・子育てをしながら安心して仕事を続けられるくまもとのすがたを「くまもとスタイル」と称し、「よかボス」の取組みを軸として、結婚や子育てを社会全体で応援するくまもとを目指す。本個別事業では、「よかボス倶楽部」推進センターの事務局として、よかボス企業同士の交流促進を図ることに加え、令和4年度に創設した「よかボス倶楽部」地域部会の運用を更に広げていくこと、「まちのよかボス」を増やすことに着目し、「よかボス」を地域に根差した取組を加速させるものである。</p> <p>(本個別事業における現状と課題) 「よかボス倶楽部」地域部会は、R4年度モデル地域として2地区を選定したものの、地域(まちのよかボス)の活動を支援する他、課題解決へのプロセスは引き続き専門家の意見を踏まえながら、運用していくことが効果的であると考えられる。 更によかボスのネットワークを広げていくための手法の一つとして、実施市町村数を増やしていく必要がある。 また、これまで企業間交流を促進させるため、若手(独身)交流も実施してきたが、アンケート(要望)も踏まえながら、継続して実施する必要がある。</p> <p>(課題への対応) R5年度は、企業(よかボス企業)、行政(市町村)、地域(「まちのよかボス」)が一体となって取り組む「よかボス倶楽部」地域部会を更に地域に広げ(実施市町村数増)、各地域ごとに抱える課題に対応した取組みを推進する。 また、まちのよかボス同士の交流を促進させることでネットワークを構築することにより、身近に安心して結婚や子育てに関する相談ができる環境づくりを行う。</p>			

	番号	項目	内容	ステップ アップ	KPI 設定
個別事業の内容	1	「よかボス倶楽部」 地域拡大推進事業	<p>R4年度は、企業(よかボス企業)、行政(市町村)、地域(「まちのよかボス」)が一体となって取り組む「よかボス倶楽部」地域部会を創設し、各地域ごとに抱える課題(若者結婚観への訴求や県外流出等)を抽出▶課題解決まで実施し、地域の実情に合わせた取組を行った(モデル的に天草市、山鹿市の2地区を選定)。</p> <p>R5年度は、(A)R4年度モデル地区の自走化に向けた取組みの支援を行うとともに、(B)地域部会活動を行う市町村を増やすことを軸に「よかボスのネットワークを更に拡大させる。</p> <p>なお、(B)の実施にあつては、行政や企業以外の地域の意見を反映させた取組みとするため、「まちのよかボス」の発掘を継続して行い、将来的に「まちのよかボス」が結婚・子育て両方に対応できる支援の担い手になり、育成したまちのよかボスが結婚支援をすることで成婚につなげ、成婚後も家庭生活の安定に向けたフォローアップを継続するなど、実働的に成果が出る仕組みを最終目標として、資質向上を図る研修や「まちのよかボス」間の情報共有の場を提供する。</p> <p>SNSアカウント運用は情報発信のためのツールとして継続実施する。</p> <p>また、企業間で参考となる取組みを共有するため、毎月4がつく日(よかボスの日)によかボス新聞を発行する。</p> <p>掲載内容は、よかボス企業が登録申請を行った際に、今後取り組みたい事項(〇〇休暇の取得)に記載した内容を実行した際に投稿できる仕組みづくりを行い、県が選定した取組みについて、記事作成を行う。当該新聞は、よかボス企業へ発信することで、事例を共有することができ、県全体の機運醸成を図ることができる。</p> <p>(個別事業)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「よかボス倶楽部」地域部会運用、拡大支援 <p>地域部会開催回数(R5新規分)3回×2市町村 参加者:25名/回×3回×2市町村=150人</p> <p>当該地域における課題抽出～問題解決の手法～実行までのプロセスにより、地域ごとに異なる課題解決に取り組む。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「まちのよかボス」発掘・交流支援、任命研修の実施(4回、参加人数計50人) ・「KUMAMOTO よかボス倶楽部」SNSアカウント(LINE、Instagram等)運用 ・よかボス新聞発行・「よかボス倶楽部」幹事会開催事業(下記2にて記載) 	○	○
	2	「よかボス倶楽部」 幹事会開催事業	<p>よかボス倶楽部の幹事会を開催し、事業運営の協議及び事業評価を行う。</p> <p>事業の進捗管理や事業評価の取りまとめなど、本個別事業の核となる会議である。</p> <p>その他、「くまもとスタイル」推進事業の進捗管理及び事業評価も行い、総合的に取りまとめを行うこととしている。</p> <p>開催回数:2回(R5.6月頃、R6.2月頃)</p> <p>開催場所:熊本市内 参加人数:よかボス倶楽部幹事及び事務局(35人程度)</p>		